

【小論文】

次の文章は、丸山徹「アダム・スミス『国富論』を読む」(岩波書店、2011年)第3章「価格と競争」に関する文章です。これを読み、下記設問に簡潔に答えなさい。

※各自で解答用紙に設問番号を記入して解答すること。

設問1 今日の経済理論における競争の概念とアダム・スミスの考える競争の概念の違いを述べよ。

設問2 自然価格による均衡と市場価格による均衡の違いを述べよ。

設問3 「神の見えざる手」というアダム・スミスの思想について誤解があると作者は考えている。

- (1) 誤解されている考え方(一般の考え方)はどのような考え方か。
- (2) 作者の考え方はどのような考え方か。
- (3) 上記(1)と(2)の考え方は、どこが同じで、どこが異なるのか。市場価格が自然価格に収れんするにあたって競争はいかに作用するとアダム・スミスは考えていたのかを考察しつつ解答せよ。